

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービス ラウレアiwakura				公表日	2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	活動内容や、必要に応じてスペースを確保することができております。トラブルが起きないように過ごしやすいスペースを確保しております。	活動しているお子様の声が午睡中のお子様の妨げにならないよう、活動内容や場所を考慮し、改善しております。また、引き続き安全に過ごすことができるスペースを確保してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	適切な配置数を確保しております。送迎変更等の対応によって不足にならないよう留意しております。	引き続き、支援や送迎時に職員間の連携の強化を図り、どのような場合でも適切な人員確保ができるように努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	お子様に伝わりやすいよう、視覚支援として掲示物を工夫しております。ルールやお約束も言葉による説明だけでなくイラストを用いた掲示物で伝えております。踏み台なども用意しております。	引き続き、お子様が過ごしやすい環境を保つことができるよう継続して取り組んでまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日の清掃・消毒業務やおもちゃの消毒作業、換気を通して生活空間を清潔に保つことができております。	引き続き、お子様が過ごしやすい環境を保つことができるよう継続して取り組んでまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	必要に応じて個別のスペースを確保することができ部屋を用意しております。活用方法の見直しも必要だと感じています。	今後も必要に応じて個別の部屋を使った対応が出来るよう、常に動線や室内の整理整頓も心がけてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		情報共有やフィードバックを大切に、定期的な目標再設定などPDCAサイクルに基づいた支援ができております。	引き続き、情報共有やフィードバックを行い、PDCAサイクルに基づいた支援を行ってまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートや日々の送迎時の保護者様のご意見をもとに、日頃から見直しを行っております。	引き続き、保護者様からのご意見を大切に、より良い施設作りに努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の朝礼・終礼時や、月に一度の月例会議で意見交換を行っております。また、個別の面談の機会も設けられているので意見を交換する機会がございます。	引き続き、全職員の意見を大切に、働きやすい環境作りに努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	現段階では、第三者による外部評価は行っておりません。	今後は、外部評価を取り入れることを前向きに検討してまいります。外部からの評価も大切に、施設作りをおこなってまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		定期的に職員のスキルアップを図る研修が内部・外部問わず行われています。	今後も継続し、積極的に研修の開催や参加を行ってまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		適切に支援プログラムを作成し、ホームページ等で公表しております。	今後も適切に支援プログラムの作成、公表をしてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		お子様一人ひとりと向き合い、アセスメントやモニタリングを通じて意向に沿った個別支援計画を作成しております。	引き続き、お子様と保護者様のニーズを反映した個別支援計画の作成をしてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		全職員が共通理解のもとでお子様の最善の利益を最優先に考慮して計画を作成しております。	今後もお子様の最善の利益を考慮して個別支援計画を作成してまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画を職員間で共有し、共通理解をもってチームで支援を行っております。	今後も情報共有をし、チームで支援を行ってまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日頃より、標準化されたツールや日々の行動観察など様々なツールを用いてアセスメントをしております。	今後はさらに多岐にわたるツールを用いた支援を検討してまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインに沿って計画を作成し、お子様一人ひとりに合った支援内容を設定しております。	今後も継続してガイドラインに沿った個別支援計画・支援を行ってまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		複数の職員による話し合いを通して、プログラムの立案を行っております。	今後も様々な意見を反映させることができるよう、チームによるプログラムの立案を行ってまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動内容を週ごとや月ごとで変更したり、季節行事を積極的に取り入れるなどプログラムが固定化しないように工夫して作成しております。	今後も固定化することがないように工夫してまいります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ対応しております。	内容や場所によっては個別活動が難しい状況もみられるため、それぞれのお子様に合わせて支援ができるように工夫してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		必ず朝礼を実施し、お子様の情報共有やモニタリング実施報告、役割分担の確認を行っております。	日々の支援の質を向上させるため、今後も継続して行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	支援後に終礼を実施しており、不足がある場合には必ず翌日の朝礼にて共有を行っております。	今後も、日々の支援の質を向上させるため、支援の記録を取り日々の支援に繋げてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		終礼議事録等でお子様の様子を当日中に記録し、日々の支援に繋げております。	日々の支援の質を向上させるため、今後も継続して行っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングを通して保護者様の聞き取りをもとに計画の見直しをしております。また、必要とされるタイミングでは個別でモニタリングを実施し、都度見直しを行っております。	今後も、定期的なモニタリング時や必要に応じて、適切に計画の見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		関係機関との連携は、施設のことやお子様のことをよく理解した者が参画しております。	会議内容は全職員に共有し、支援方針や理解度に差がないよう、留意しながら今後も継続して行っております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	地域の機関と連携することができる体制を整えております。	引き続き協力医療機関と連携し、体制を整えてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	本人を取り巻く関係機関と連携をとって支援を行っております。お子様や保護者様にとって必要だと判断した際には、併行利用等もご提案させていただいております。	今後も継続し、インクルージョン推進の視点から支援を行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	送迎時の申し送り等で、お子様の情報共有は行っております。移行の際の連携について強化していきたいと考えております。	今後はさらに関係機関との連携を密にとり、就学時移行の際は特に情報共有と相互理解に力を入れてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	相談支援事業所の相談員との連携を密に取ることでお子様の様子や情報を共有することはできています。	今後はさらに支援の質の向上のため、児童発達支援センターなどの関係機関と連携を密にとり、必要に応じて助言等を参考に支援に反映してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	外出イベント等で地域のお子様と関わる機会がある際には、積極的に関わりを持つようにはしております。	現在、保育所や幼稚園との交流会は実施していないため今後検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日頃から送迎時の申し送りを通して、保護者様とお子様様を共有し、共通理解をもって支援を行っております。	今後も、保護者様との連携を大切に支援を行っております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	ご家族様支援等で保護者様のお困りごとなどを聞き取り、支援に繋げております。	ご家族様が参加できる研修等は現状行っていないため、今後は前向きに検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に資料を用いて丁寧に説明を行っております。	今後も継続して行っております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		契約時のアセスメントやモニタリングを通して保護者様のニーズをお伺いしたうえで、児童発達支援計画の作成や支援を行っております。	児童発達支援計画の質を向上させるため、今後はお子様と保護者様の意見を尊重した計画作成を行っております。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		児童発達支援計画を説明したうえで、保護者様に同意をいただいております。	今後は保護者様が安心していただけるようわかりやすい説明を継続してまいります。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々、保護者様からの悩み等には迅速かつ適切に対応しております。	今後は満足してご利用いただけるよう継続して行っております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	季節の大型行事できょうだいの参加を受け入れるなど、きょうだい交流の場を設けています。	今後は、「父母の会」の実施など、保護者様同士の交流の場を設けられるように検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日々、お子様や保護者様からのお悩み等をいただいた際には迅速かつ適切に対応しております。	今後も満足してご利用いただけるよう相談や申入れがあった場合には迅速に対応を心がけてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページや定期的なSNS更新を通して、施設理念や日々の活動内容を保護者様やお子様へ伝えております。	今後も満足してご利用いただけるよう、SNS更新等に力を入れ、継続して行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いに関しては職員全体で十分に注意して行っております。	今後も個人情報を漏洩させることがないように、注意して取り扱いをしてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		言葉遣いに考慮したり、視覚的に伝えるなど伝え方を工夫して対応しております。	今後もお子様や保護者様に満足してご利用いただけるよう情報伝達の為の配慮を継続して行ってまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	現在は、地域住民との関わりが少ないため、今後は関わりを持つことができるよう検討してまいります。	今後は地域住民を招待するなど、関わりを持つことができるよう研修や訓練を前向きに検討してまいります。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、研修や契約時に周知したうえで定期的な訓練を実施することができております。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、定期的にBCP訓練を実施することで災害時や緊急時に迅速に対応できるように備えております。	今後も、安全かつ緊急時にも適切に施設運営ができるよう研修や訓練を継続して行ってまいります。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時にアセスメントを行い、事前に服薬の情報を職員間で共有して対応しております。	今後も、お様が安全に通っていただけるよう、職員間の共有を継続して行ってまいります。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時にアセスメントを行い、事前にアレルギー情報や、対応方法を職員間で共有して対応できるようにしております。	今後も、お様が安全に通っていただけるよう、職員間の共有を継続して行ってまいります。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的な安全点検を実施し、日々の支援を安全に行うことができるようにしております。	今後も、安全に施設運営ができるよう毎週の施設点検を継続して行ってまいります。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	お子様の安全確保はしっかりとできております。	今後は、ご家族様が安心していただけるよう安全計画の周知についても注力してまいります。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが起きた際には全職員で共有し、再発防止策についての話し合いを行っております。	今後も安全な施設運営を継続し、ヒヤリハットが起きることがないように継続して行ってまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、定期的な職員向けの虐待防止研修やアンケートを実施することで日頃から虐待防止についての意識を高めています。	今後も、安全に施設運営ができるよう研修やアンケートを継続して行ってまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	全職員が研修を通して、身体拘束についての理解をもって支援しております。	今後も、引き続き保護者様に十分な説明を行い、新入社員が入社した際には、全職員が共通理解になるよう周知してまいります。	